

ニーオルスン基地施設利用上の手引き

目次

はじめに	3
第 1 章：基地を利用する前に	3
1-1 滞在情報の登録	3
1-2 基地への荷物の輸送	4
1-3 通貨	4
第 2 章：ニーオルスン到着の際の手続き	4
2-1 到着	4
第 3 章：基地内設備の使用上の注意	4
3-1 器具の使用	4
3-2 電源使用上の注意	5
3-3 ネットワーク使用上の注意	5
3-4 キッチン使用上の注意	5
3-5 ごみ処理	5
3-6 機材のデポ	5
3-7 自動車・スノーモービルの使用	6
3-8 ディーゼル燃料	6
第 4 章：実験施設の利用（末尾の基地案内図を参照）	6
4-1 施設内共通の利用上の注意	6
4-2 各室の利用上の注意	6
第 5 章：日常生活について	7
5-1 食事	7
5-2 買物（売店）	7
5-3 バー	7
5-4 食料の入手	7
5-5 洗濯	7

5-6 掃除	7
5-7 電話	8
第 6 章：医療	8
6-1 医療	8
第 7 章：外出する際に注意すべき点	8
7-1 外出する際に注意すべき点	8
7-2 野生動物	9
7-3 立ち入り禁止区域	9
第 8 章：帰国前にすること	9
8-1 ニーオルスンを離れる前に	9
8-2 復路飛行機の確認	9
8-3 支払い	9
第 9 章：その他	9
9-1 定例会議への出席	9
9-2 本手引きに関する問い合わせ先	10
ニーオルスン基地 案内図	11

ニーオルスン基地施設利用上の手引き

2026年2月24日改正

国立極地研究所ニーオルスン基地を利用する方へ

はじめに

1. 国立極地研究所ニーオルスン基地（以下「基地」という。）は、ニーオルスン国際研究観測拠点の建物 Kings Bay Veksthus 内にあり、ニーオルスンの中心部に位置します。ニーオルスンはノルウェー本土北端と北極点との間に位置するスバル諸島スピッツベルゲン島にあります。日本からは、航空機利用によりノルウェーのオスロやtromsø等を経由してロングイヤービンに入ります。ロングイヤービン～ニーオルスン間の航空機はチャーター便となりますので、予約は北極観測センター（以下「センター」という。）を通じて行います。



スバル諸島



ニーオルスン基地

2. 野外行動及び基地の運用に関して問題が生じた場合は、基地使用者の各々の判断ではなく、基地利用申請書に記載した観測チームリーダーの指示に従って判断することを基本とします。

第1章：基地を利用する前に

1-1 滞在情報の登録

外務省のホームページ「たびレジ」にて、邦人援護等領事業務用に滞在情報を登録ください。
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

1-2 基地への荷物の輸送

1. 郵便小包の場合：Kings Bay AS（以下「KB」という。）へ事前の連絡の必要はありませんが、3梱以上まとめて送るのであれば、基地使用者は事前に梱数、重量（個別の重量および総重量）をKBのレセプション booking@kingsbay.no へてに連絡してください。
2. 航空貨物の場合：日本から送る前に、梱数、重量（個別の重量および総重量）をKBのレセプションへ連絡してください。AWBナンバーがわかった時点で、再度センターとKBのレセプションへ連絡してください。特に100kg以上の荷物をまとめて送るのであれば、希望到着日の**最低2か月前**にはKBへ連絡してください。この場合、KBから船便に変更するように指示がある可能性があります。船便については、ロングイヤービン⇄ニーオルスン間の運航スケジュールがあらかじめ決まっているので、ご注意ください。

<https://kingsbay.no/>

1-3 通貨

ニーオルスン内の支払いは、主にクレジットカード（Visa, Diners, Eurocard, American Express, MasterCard, Maestro等）による支払いです。ただし、週に2日営業するバーのみノルウェークローネ(NOK)による現金払いとなります。

第2章：ニーオルスン到着の際の手続き

2-1 到着

1. ニーオルスン空港に到着したらKBの送迎バスに乗車し、KBのレセプションに行きます。レセプションにて所定の用紙に必要事項を記入の上、チェックインの手続きを行ってください。特に出発日は間違いないか必ず確認してください。
2. 必要な場合には、KBからシーツやタオルおよび車両（参照：運営規約中の車両の運用）を受け取ってください。車両の燃料不足の場合は、「ディーゼル燃料」の項（P74-6）を参照の上、補給してください。

第3章：基地内設備の使用上の注意

3-1 器具の使用

1. 「ニーオルスン基地における観測活動経過報告書」（以下「報告書」という。本手引きにて後述する「4-1 実験施設利用上の注意」を参照のこと。）ファイルを読み、過去の基地滞在者からの引き継ぎ注意事項等の有無を確認ください。
2. すべての共用器具（明らかに個人あるいは特定の観測に属するものを除く）はご自由にお使いください。補充の必要があるため、破損等で数が減った場合はその旨をセンターに報告ください。消耗品については、自給を原則とします。
3. 文房具等については、持参のものをご使用ください。

3-2 電源使用上の注意

屋内の電圧及び周波数はノルウェーに準拠した仕様(230V 50Hz)で、電源コンセントの口形は IEC Type F(アース付き)または IEC Type C (アース無し)となります。日本の電機仕様(100V 50Hz)の機器の利用は研究目的に限定された機器に限りダウントランスファーを介することで利用可能です。ダウントランスファーを含む利用予定のすべての電子機器には NEMKO 認証または CE マーキングを必要とします。電子機器についても電波を発信することは禁止されています。

3-3 ネットワーク使用上の注意

特定のポートを除き、ネットワークの接続利用が可能です。ネットワークの利用規定について情報・システム研究機構の情報セキュリティポリシーに準拠します。特に利用者が知っておかなければならない事柄を列挙します。

- ・ネットワークを研究利用目的以外使用しない（リビング・寝室は除く）
- ・ネットワークに接続する機器がある場合は、情報機器の管理者を nalyr@nipr.ac.jp あてに届出が必要である
- ・情報機器の管理者は nalyr@nipr.ac.jp あてに相談のうえ、設置した情報機器の情報セキュリティ対策を行わなければならない
- ・情報セキュリティ上の問題のある情報機器が存在していた場合は、いかなる観測が行われていても予告なくネットワークプロバイダー及び管理者の判断により強制的なネットワークと電源の遮断が実施される場合があります。

3-4 キッチン使用上の注意

1. キッチンへサンプルや薬品を持ち込まないでください。特に、流し台と冷蔵庫の研究目的使用は、厳禁とします。
2. 自炊する場合の食料は、各観測チームが事前に調達する事を原則とします。キッチンの冷蔵庫は、食料保存以外の目的に使用しないでください（実験試料の保存などは不可）。生野菜、肉、魚、乳製品など長期保存不可能な食料については、ニーオルスン出発前に必ず処分し、好意であっても長期保存可能な食品も基地内に残置しないでください。

3-5 ごみ処理

ニーオルスンでは、ゴミの分別収集を行なっています。分別方法の詳細については管理棟横のゴミ処理室の掲示を参考にし、不明な点は KB に確認してください。基地出発前には、ゴミの処分を忘れずに行なってください。

3-6 機材のデポ

持参した物品は、すべて廃棄または持ち帰ることとします。継続して使用する計画が決まっているときのみ残置の可否を判断するので、nalyr@nipr.ac.jp あてに事前に連絡してください。残置する場合は最長 5 年を限度とし、倉庫に整理してまとめ、外装に所有者、使用グループ、残置期限、その他特記事項（例えば、低温、振動、転倒に注意など）などを明記してください。主たる担当者の所属が国立極地研究所（以下「極地研」という。）以外の場合は、連絡者として極地研の担当者を決め、氏名を併記してください。倉庫のスペースは、室内実験、機器の調整・整備、フィールド調査の準備等に使用しますので、ここへの残置は必要最低限のものに限定します。

3-7 自動車・スノーモービルの使用

ニーオルスン基地には自動車があります。利用する場合には、観測チームリーダーは車両運用の責任者となり、安全・慎重に取り扱ってください。走行禁止区域がありますので、事前にKBへ確認を取ってください。道路に速度規制は記されていませんが、制限速度は時速30kmです。特に夏期は観光客が道路を歩いていることがありますので、クラクションは使用せず、歩行者を驚かしたりすることの無いよう注意してください。

3-8 ディーゼル燃料

ディーゼル燃料は、自動車の鍵につけられているボタン型のチップを使い、ガソリンスタンドにてセルフサービスで給油します。チップリーダーにボタンを重ね合わせます。ガソリン(Bensin)、ディーゼル燃料(Diesel)の区別があるので、ディーゼル燃料を給油してください。灯油・オイル等は、発電等の係員に頼んで分けてもらいます。各燃料を給油した場合には、観測チームリーダーは報告書の所定の場所に記載し、帰国後にセンターへ提出してください。

第4章：実験施設の利用（末尾の基地案内図を参照）

4-1 施設内共通の利用上の注意

1. 観測・実験目的に応じてスペースを使い分けます。本来の使用目的とかけ離れた使用は、できる限り避けるよう心がけてください。観測・研究機材を設置する場合には、センターに事前に届け出て設置の可否を確認してください。必要に応じてニーオルスン観測調整会議の承認を得る必要がある場合があります。
2. 基地を発つ前に共通物品の消費状況も含めて報告書を作成し、1部印刷して報告書ファイルに綴じ、センターにも帰国後速やかに提出してください（本手引きにて前述した「3-1器具の使用」を参照のこと。）。

4-2 各室の利用上の注意

1. 観測室（2階）：ドライ環境の観測室で、電離圏・気象等の連続観測の使用に適しています。観測室の半分が極地研のスペースで、残りの半分のスペースは物品等を置けません。隣接する観測デッキに観測機器の配線を通すことができます。物品の持ち出し禁止です。
2. 観測デッキ（2階）：観測デッキには観測機器が置いてあり、観測を行なっています。隣接する観測室に配線を通すことができます。観測への影響を避けるため、観測に無関係な方は観測機器へ近付かないようにしてください。
3. 機材室（2階）：ドライ環境で実験機器を使用するスペースです。研究試料用冷蔵庫が設置されています。関係者以外は基本的に立ち入り禁止、物品の持ち出し禁止です。
4. セミウェットラボ(小)（2階）：基本的にクリーンな環境で使用するスペースです。多量の液体を扱う実験には使用しないでください。
5. 倉庫（1階）：野外観測機材、工具類、実験機材の保管、機材の整備、加工などに使用します。

6. Kings Bay Veksthusの建物内には、極地研基地の実験施設の他、KBが管理する共用実験施設（以下「KB実験施設」という。）があります。KB実験施設を利用する場合は、使用料金が発生しますので、事前にKBのレセプションに連絡してください（無許可での利用は不可）。なお、Kings Bay Veksthusの建物内にあるKB実験施設は、主に陸域生態系の研究者の実験スペースとなる予定です。極地研以外のスペースは立ち入らないでください。

第5章：日常生活について

5-1 食事

1. Mess（食堂）は、月曜日から金曜日は朝・昼・夕の3食、土曜日と日曜日はランチ・夕の2食用意されます。食事時間を厳守してください。野外や実験等で夕食に行けない場合は取り置きができますので、キッチン関係者に尋ねてください。また、パンや冷蔵庫に保管しているハム等は、夜間でも食べることができます。
2. 実際の食事の回数にかかわらず、滞在期間は770 NOK/日、修士までの学生は520 NOK/日（2019年1月現在）の費用がかかります。

5-2 買物（売店）

ニーオルスン内には売店があります。基本的にニーオルスン-ロングイヤービン間のフライトがある日の夕方に1時間程度開店します。支払いは主にクレジットカードで行ないます。酒の購入に際しては搭乗券の提示が求められ、購入数量に制限があります。

5-3 バー

夏期間は週に2日、夜間営業しています。バーは食事と別料金で、その場で現金払いです。営業時間、曜日はMessの掲示板や各テーブルで確認してください。

5-4 食料の入手

Messの食料を分けてもらうことができます。調理人が忙しくない時間に希望品目一覧表を渡して頼んでおくと、後刻（普通は翌日）引き取りに来るよう時間を指定してくれます。支払いはこの段階では不要です。（以下、特に明記した箇所を除いて、すべてその場における金銭の授受を伴いません。）

5-5 洗濯

個人の洗濯は、KBのレセプション近くにある洗濯室の洗濯機・乾燥機が利用できます。洗剤、柔軟剤は置いてあるものを使用できます。

シーツ類はKBがまとめて洗濯するので、必要に応じて管理棟内のゴミ処理室入口の所定のかごに入れてください。新しいシーツやタオルは洗濯室奥の部屋にあり、自由に利用できます。

5-6 掃除

基地の共用部には週に一度KBの掃除担当が清掃することになっています。玄関を掃除

する際に靴が乱れておいてあると清掃担当に迷惑がかかります。常に整理するよう心がけてください。

5-7 電話

基地備え付けの電話は公用に限ります。使用した場合は、日時、使用時間、連絡先とその電話番号、使用者名等をノートに記入し、報告書にも記載、もしくはノートのコピーを報告書に添付してください。私用電話はインターネット（Skype等）またはKBのレセプションにある公衆電話を利用ください。

第6章：医療

6-1 医療

基地には救急箱がありますが、KBのレセプション、もしくは緊急時の連絡先(Watchmanへの連絡先がキッチンに掲示してあります)へ連絡すれば善処してくれます。薬類(特に風邪薬、胃腸薬などの内服薬)は、各自で持参するようにしてください。また残った分は食料や消耗品と同様、基地に残置せず、持ち帰るか処分してください。

AEDがレセプション手前とMuseum入り口に設置されていますので、確認してください。

第7章：外出する際に注意すべき点

7-1 外出する際に注意すべき点

ニーオルスン中心部を離れるとホッキョクグマの出没危険地域となります。ニーオルスン中心部を離れる場合には、必ずライフル銃と信号弾とトランシーバー・イリジウム電話機を携帯してください。

なお、ライフル銃の取り扱い、その運用と管理については必ず観測チームリーダーの指示に従うほか、使用者全員がKB(有料)、もしくはUNISのホッキョクグマ安全講習を受講後に細心の注意を払って運用ください。学生がライフル銃を携帯・使用することは原則として認めない。ライフル銃をKBから借用するためにはニーオルスン政府の許可が必要です。詳細はセンターにお問合せください。特に冬季には、ホッキョクグマの出没に対処するため、屋外の観測施設に行く場合でも、観測チームリーダーへの連絡、懐中電灯の携帯、外灯の点灯を励行してください。

ニーオルスン中心部にてライフル銃および信号弾を携帯中および保管中は、ライフル銃および信号弾から弾丸を抜き取ってください。ニーオルスン中心部から離れる際には、ライフル銃および信号弾に弾を込めてください。ニーオルスン中心部に戻る際は、弾丸を抜き取ってください。建物、乗り物、船に戻る前にライフル銃および信号弾の弾丸が抜き取ってあるかを必ず確認してください。

極夜期の外出時は、安全のため必ずリフレクターを着用してください。



7-2 野生動物

飼犬を含めた一切の動物や動物の死骸や糞に触れないようにしてください。動物を驚かせたり、むやみに植物を傷めたりしないよう配慮してください。

7-3 立ち入り禁止区域

野鳥保護区や観測地域では立ち入り禁止区域がありますので、KBのレセプションに掲示してある地図を確認してください。空港の滑走路は立ち入り禁止区域です。絶対に許可なく立ち入らないでください。

第8章：帰国前にすること

8-1 ニーオルスンを離れる前に

1. 使用した個室はトイレ、シャワールームを含めて清掃し、基地の内部は到着時と同じ状態にしてください。暖房は、最低温度に設定してください。
2. 滞在中に出たゴミは各自で処理してください。
3. 玄関のドアがしっかり閉まっていることを確認の上、退出してください。
4. 自動車はKBのレセプション前の駐車場に駐車してください。その際、冬季はワイパーを上げ、車のヒーターケーブルを駐車場のヒーター用電源に接続してください。また、サイドブレーキは引かず、ギヤをバックに入れた状態で、ドアはロックしないでください。
5. 個室の鍵はレセプションに返却してください。

8-2 復路飛行機の確認

KBのレセプションで帰りのLongyearbyen行き飛行機の運行状況を確認してください。天候次第で飛行機の運航が大幅に変わります。飛行機の欠航に備えて船の運行にも注意していると良いでしょう。

8-3 支払い

当日、飛行機に乗る前に、ロングイヤービン往復の航空運賃・食費・携行荷物の超過重量代・ライフル銃のレンタル代等の代金支払をKBのレセプションで済ませてください。持ち込み荷物のうち特に重量や体積の大きい物品を手荷物とする場合は、出発の数日前にレセプションで可否の確認をすることをお勧めします。

なお、ロングイヤービンへのフライトチェックインは、遅くとも航空機がロングイヤービンを出発する**1時間前まで**に済ませてください。

第9章：その他

9-1 定例会議(Ny-Ålesund Research Station Weekly meeting)への出席

ニーオルスンでは、Norwegian Polar Institute（以下「NPI」という。）の基地リーダー

ーが議長となり、各基地のリーダーが一堂に会する定例会議が行われています。各リーダーから活動の現況と次週の予定が報告されると共に、ニーオルスン全体に関わる事項が通知されます。基地代表者、もしくはその代理者は調査研究活動に支障の無い限り必ず出席して下さい。2019年1月現在は水曜午前8時15分から食堂2階のラウンジ奥にあるZeppelin Seminar Roomにて開催されています。時折、場所が変更されることがありますので、前日にKBのレセプションまたはNPIの基地リーダーに時刻と場所を確認しておくといでしょう。後日、センター宛に議事録が届きますが、会議内容で至急センターへ連絡が必要な場合は、aerc-kikaku@nipr.ac.jpあてに報告してください。

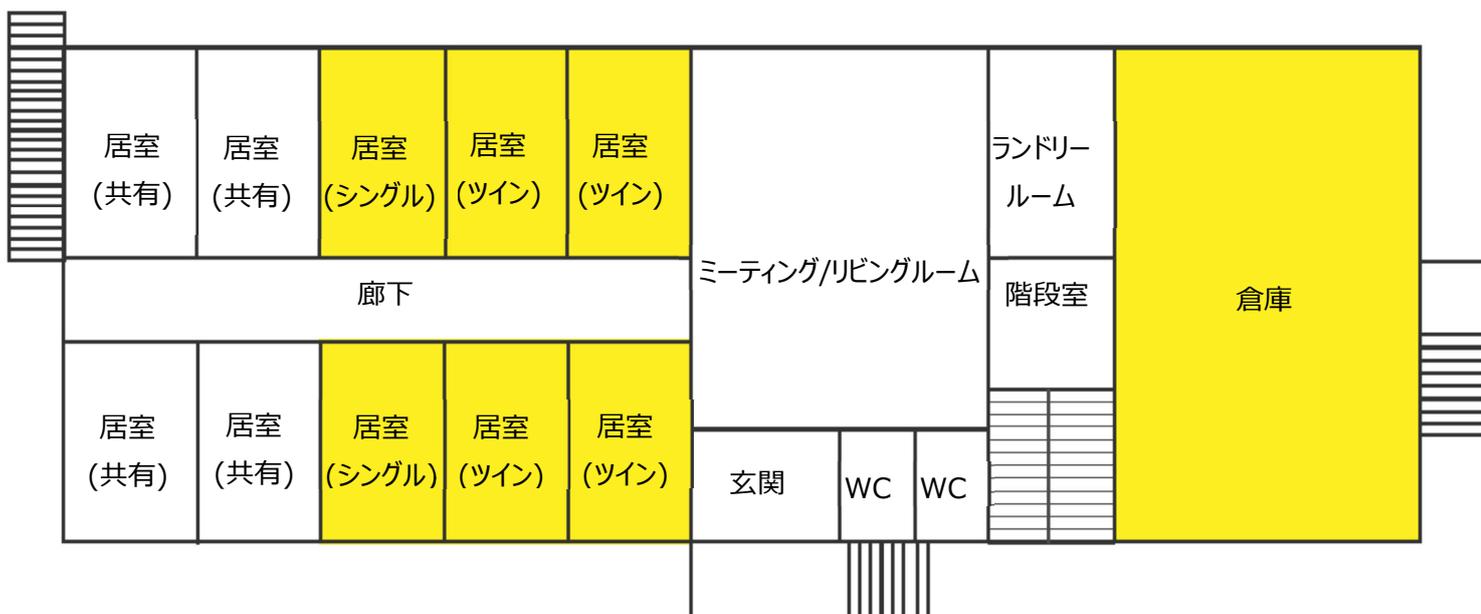
9-2 本手引きに関する問い合わせ先

国立極地研究所 北極観測センター ニーオルスン基地担当

E-mail: aerc-kikaku@nipr.ac.jp

ニーオルスン基地 案内図（黄色部分は、日本の専有スペース）

1F



2F

